

令和3年度 第1回新見市水道事業運営審議会 会議録

【日 時】 令和3年10月26日（火）13：30～15：20

【場 所】 新見市役所 南庁舎3階 大会議室

【出席者】

- ・委 員 林田会長、立花副会長、中西委員、西川委員、峠田委員、上田委員、藤原委員、林委員、中川委員、三上委員、松田創太郎委員、大西委員、松原委員、妹尾委員、松田美幸委員、江田委員、秋庭委員 計17名
- ・市関係者 大西建設部長
- ・アドバイザー 明定公認会計士（有限責任監査法人トーマツ）
- ・事務局 上水道課：土屋課長、高瀬課長補佐、秋葉係長、山本主査、植田主任

【議事次第】

○令和3年度 第1回新見市水道事業運営審議会

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 料金改定について
4. 議題
 - (1) 令和2年度決算の概要について
 - (2) 収支予測と実績（決算）の比較について
 - (3) 経営分析について
 - (4) 令和3年度の主な事業の概要について
 - (5) 国等への要望活動について
 - (6) 新見市水道事業経営戦略の策定について
 - (7) その他
5. その他
6. 閉会

【配付資料】

- ・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会 次第
- ・新見市水道事業運営審議会委員及び新見市下水道事業審議会名簿
- ・「令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会」 配席図
- ・新見市水道事業運営審議会規則
- ・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会資料

- ・新見市水道事業経営戦略

【会議内容】

○令和3年度 第1回新見市水道事業運営審議会

1. 開会

土屋課長

2. 会長あいさつ

林田会長

本日は、令和3年度の第1回新見市水道事業運営審議会に大変お忙しいところ出席をしていただきまして、誠にありがとうございます。

コロナ禍から約2年近くが経過しましたけど、いろんな業種、業界が疲弊したというふうな状況ですが、新見市も様々な支援事業をしていただき、企業等も助かっていると思います。

これから審議をしていただくわけでございますが、非常に長時間になろうかとうに思いますけど、スムーズな運営にご協力をお願いいたします。

3. 料金改定について

大西部長

水道料金と下水道使用料の料金改定について、新型コロナウイルス感染症などによる、市内経済への影響や、様々な社会情勢を考慮した結果、料金改定を延期すべきと判断し、最低1年は延期する方向で現在調整を進めております。

料金改定を延期することは、水道事業、下水道事業にとりまして、より厳しい財政状況となります。一般会計からの一時的な支援や、より一層の効率化、経費削減等に努めながら運営して参りたいと考えております。

4. 議題

(1) 令和2年度決算の概要について

秋葉管理係長説明

・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会資料P 1～8を説明

〈質疑応答・意見と回答〉

■委 員 収支の決算概要が書いてあるが、令和2年度の事業をする前に令和2年の事業計画みたいな目標値があると思うが、それと令和2年度の実績を比較をしたものがないか。

□事務局 予定額というのが、水道事業にはあるんですけど、そちらの方を付記すべきということでよろしいでしょうか。

- 委 員 令和元年度の実績と令和2年度の実績を比較しても、いろいろ中身が違うので、比較にならないと思う。あらかじめ作った計画に対して、令和2年度の実績がどうであったというところを見ないと。予想より増えたのか減ったのか、何がまずかったという問題が見えてこないと思う。良いところも悪いところも見えてこないと思う。令和2年度の計画に対し、実績がどうであったか、そういう意味での決算を見ないと。
- 事務局 ご指摘の部分につきましては、資本的収支について、施設の更新、それに伴う起債については、ご指摘のとおり年度によって大きく変わる。大きな工事があったりしてそれに伴う支出、それに伴う起債という形で大きく変動するっていう意味では、予定額の表示っていうのも、すべきだったかなとは思う。収益的収支については、営業に伴うものであるので、こちらについては前年度との比較という形の方が、企業経営についてわかりやすいような形になっているので、来年度については、資本的収支については予定額を追加して、より見やすいような資料にしたいと思う。
- 委 員 会社としては、立てた計画に対して実績がどうだったかというのがないと、経営じゃない。成り行きでやったってしようがないんで。やろうと思ったことに対してどれだけできたか、何ができなかつたかというところをきっちりしないと困る。例えば、6ページ目だと、令和元年度と令和2年度の間に、令和2年の目標値の欄を追加するようにお願いする。
- 事務局 次回からはそういった形の見やすい資料に、改善するようにする。
- 委 員 見やすいじゃなくて、そうしないと決算が分からぬ。立てた計画に対してどうであったかというのは、会社経営する方はおそらく考えている。この水道事業というのは、新見市役所の中で唯一のものを売つてお金を儲ける商売である。結果だけで増えた、減ったでは、事業になってない。事業計画に対して実績がどうであったか、令和元年度の実績が、令和2年度の目標値ならいいけど、違うでしょう。そしたら令和2年度の結果は、令和2年度の計画に対してどうであったか、令和3年度の結果は、令和3年の目標に対して、どうであったか。
- 会 長 これは次に（2）、収支予想と実績の比較についてがあります。ここは何を説明されるのですか。
- 事務局 それにつきましては、令和元年に答申をいただいた際に、令和4年度に料金を統一して、令和6年に10.8%の値上げをする、その根拠となります収支予測と実績が、どのように乖離していくかというのを常に検証していかないといけないと思うので、その検証を行うようにする。

- 委 員 前年度比較との比較もいいですけど、前年度との比較ではなくて、目標値に対する比較、何が悪かったか、何がよかったです、そういうのがほしいなと思う。
- 会 長 目標値はあるんですか。
- 事務局 予定額、いわゆるお役所言葉だが、予算額というものがあり、支出についてはその枠の中でやっていく、収入についてはそれ以上に収入があるように努力していく。あくまで予算額ですので、できるだけ支出については少ない方が良い、収入については、予定額についてそれ以上に収入がある方が良いので、それが目標値になるのではないかと思います。
- 会 長 予算額があれば、いいんじゃないでしょうか。
- 委 員 人件費、委託料、動力料など、一つ一つ予算があると思う。令和元年度の予算、令和2年度の予算、令和3年度の予算をここに入れればいい。その予算に対して実績がどうであったか。この令和元年度の実績は、参考でいいです。令和2年度の予算に対して令和2年度の実績がどうだったかっていうところを見ていかないと。でないと、毎年毎年、水道を使う人の人口も減るし、それを踏まえて令和2年度の予算案があるはずだから、それに対して実績がどうとかいうのを、私個人的には知りたい。知りたいし、水道事業をやっていく新見市の上水道の人たちの目標値となる、業務の。それによってあなた方の評価が決まる。計画通りできていない、誰が頑張ったか頑張ってないのっていう人事評価ができる、市役所は違うのかもしれないけど。ここに予算あるなら予算を入れて欲しい、それに対してどうだとかっていうのは知りたい、次回、よろしくお願ひします。
- 会 長 この中で事業されてる方もおられるということもおられると思いますけど事業をされている方は、言われる通りだと思うんですが、今年度の売上をプラスするか、その売り上げに対して、どれだけ費用経費、どんなものを、幾らかっていうのは、年間の予算というものを多分各社持っていると思います。だからそれを表示して欲しいということですね。それに対して実績がどうだったかという比較をしたいということだと思いますが当然だと思います。できれば、できればではなく、必ずやっていただきたい。
- 委 員 でないと、質問ができない。例えば、支出のところの人事費が令和元年度が39百万円で令和2年が84百万、計画に対してどうなのか、これでは質問はできない。
- 会 長 次年度からは標記するようお願いします。令和3年度の主な事業について、この後説明があると思いますが、それに関して予算の説明がある

か。

□事務局 この後、令和3年度の主な事業については、総事業と今年度の事業費を書いてあるが、単年の事業については、実績値を上げている。

■委 員 ここに令和3年度の予算、事業が書いてあるが、目標値も後ろのページに出てくればいい。それを次回、令和3年度のものに対して実績がどうであったかというのも、比べていけば評価ができる。

□事務局 来年度からそのような見やすい資料の方に、改定させていただきたいと思う。

■会 長 あくまでも企業ですから、その年度の収益目標、経理の予定額を記載して、それに近づくように運営していくべきだと思いますので、お願ひしたいと思う。

(2) 収支予測と実績（決算）の比較について

秋葉管理係長説明

- ・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会資料P 9～10を説明
(質疑応答・意見と回答)

■委 員 自分らの感覚からすると減価償却費の予定とか、長期前受金戻入というのは減価償却資産の見合いの収益管理と思われるが、収支予測がこんなにもズれるというのが、理解が難しいところだが、僕が思ってる減価償却と長期前受金戻入について教えてください。

□事務局 減価償却費と長期前受金戻入について、新しい委員もおられるので、資料の一番最後、24ページに減価償却費、長期前受金戻入の説明がありますので、説明します。減価償却費は、時間の経過や使用により価値が減少する固定資産を取得した際に、取得するための支払額をその耐用年数に応じて費用計上していく会計処理のことです。それに対して、長期前受金戻入は、過去に交付された補助金等のうち、減価償却が必要な資産に充てたものについて、一旦、勘定科目的負債に長期前受金として計上・整理し、これにより取得した資産の減価償却に併せて、毎年度、減価償却費相当額を収益として計上・処理するものです。先ほど説明した減価償却費が、収益的収支の支出の方で、耐用年数に合わせて費用化していくものに対し、長期前受金戻入は、国・県からの補助金を、減価償却費と同じような形で、収入の方に、収益として上げていくというような形になっている。指摘のあった点について、2点考えられ、この収支予測は、平成29年度の決算をもとに、収支予測を行っております。その中で、減価償却費は、建設改良費のうちの、耐用年数が40年という形で、一律で償却をしている点です。それと、この後説明があ

- る主な事業概要の中の、馬塚浄水場の改良というのが比較的大きい事業で、収支予想とずれた原因になっていると考えております。
- 委 員 おそらく概算でやったということが一つの理由と、期中に馬塚浄水場が新たに資産計上をされたことが、原因であったと思うが、何かもう少し予測がきっちりできるようにして欲しいと感じた。
- 委 員 収支予測額は予算ですか。
- 事務局 ここに書いてある収支予測額は、令和元年に当審議会から、令和4年度に料金の統一、令和6年度に10.8%の料金の改定という答申をいただいた際に、平成29年度の決算額をベースに、令和15年までの収支予測を作成し、その際の収支予測額を記載しております。
- 委 員 この決算額は令和2年度の決算額ですか。
- 事務局 はい。
- 委 員 重複することになるが、令和2年度の予測と実績があるが、令和2年度の目標予算額というのは書いていないか。
- 事務局 はい。
- 委 員 これも令和3年度になつたら収支予測額のところに、事業計画を作つた時の数値をはめ込んで、令和3年度の決算額と比較していくということか。
- 事務局 はい。
- 委 員 ちょっとわかりにくい気がする。
- 会 長 わかりにくいし、数年前に立てた収支予測と、令和2年度、現在の金額の乖離が、かなり出てくると思う。ですからもう少し近い期間の予測と決算の比較をした方が私もいいように思う。
- 事務局 収支予測と実績について、令和元年の時の料金改定する時の審議会で、その時の料金改定をする根拠については、令和15年度に年間収入の8割の現金は保持する、それを出すのに15年間のシミュレーションをしたが、現金及び預金が一番シミュレーション上では大切な数字ということになります。現在、予測額として10億1,900万で、令和15年には、約4億になつてくるということになるので、ここを見ていただくと、予測額の10億1,900万に対して、決算額が11億9,000万円、約1億7,000万円、予定よりも増えた。ただこれはあくまで簡水を上水に統合をした時に簡水が持ってきた資金によって増えておりますので、そういう点も含めて、確かにシミュレーションを作成したときは、若干条件が変わるのは事実だと思いますが、一番はこの現金及び預金のところを、注視していくべきものというふうに、今時点では思うんです。これが予想以上に下がつてしまふと、料金改定だ

けでは賄えない、ということになるので、余裕があれば、例えば令和10年ぐらいから、次の値上げについて検討しなければいけないということも答申に書いてあったと思うんですが、それが現金があることによって、12年13年に、検討を開始するのを遅くすることも可能になってきますので、今回は一応そういうこともあって収支予算額に対してどうなるかというのを出させていただいた。ご指摘の、その年の予定額、予算額、目標値みたいなものを入れた方がいいということであれば、来年からそのようにしたいと思う。

■委 員 ありがとうございます。収支予測額というのは、令和2年度の収支予測額ですよね。令和3年度とは違いますよね。だからここへ、令和2年度の収支予測額を入れてくれると、もっとわかりやすい。別表で折れ線グラフを、令和1年から令和15年まで収支不足額のラインがあってそれに対してこの実績が合うか。ここにあれば、それ見て、この傾向だと、もう1回料金改定がいる、利益でてる、その方がわかりやすいので、1年に1回しか会議がないので、そういう表であればわかりやすい。

□事務局 例えは今回であれば、令和2年度の折れ線グラフが入って令和3年度以降は予測値が入ってくる。令和3年度であれば令和3年度の実績が入ってくる、毎年1年毎の予測の折れ線グラフと実績の折れ線グラフが入ってくるというイメージでよろしいでしょうか、わかりました。

■委 員 そうすると、事業計画、昔立てたときの予測にして、うまくいってるかどうかが見えてくる。

■委 員 先ほど議論の中で、資料に関して、予測値に対して当該年度の当初計画と、実績を踏まえたものを出すべきであると、確かにおっしゃるように純粋な営利企業におかれでは、それがあることによって比較ができるというふうには理解できるんですけど、こと水という、唯一公営企業会計においてもアイテムだと思うんですね。それについて当該年度の目標値と、それから実績について、その都度資料提出されるということは、例えば、令和2年度の当初予定は、給水人口が実際にどれぐらいあるのか、それに対して、給水量がどの程度示されるのか、それに基づいて、年度末の実績が出されるということが一番正確な資料であると思われるわけです。ただ、今日提示された資料はあくまでも、私もその当時、上水道、簡易水道を統合する審議会おりましたけども、その時にまとめられたもので、当予測値に基づいて、出されたもので、先ほど、結論の中では、部長も来年度からは、まとめられるということなんんですけどそれが果たしてですね、ニーズというものについてできるかどうかそのについて、もう一度確認させていただきたいと思います。

- 事務局 ご質問につきましては、先ほどご指摘もあった折れ線グラフ、実績等予測等という形で、比較・検討するという形、そもそも料金改定のタイミングが、これでよかったかということも、検証する意味でも有意義なものであると思いますので、来年度につきましては、グラフ等を使って、委員の皆さんに見やすい資料を追加させていただきたいというふうに思っております。
- 委 員 10ページの収益的収支のところで、決算額マイナスの13百万円というふうに記載されております。資本的収支の方は、収支不足額ということで、決算額を書かれているんですが、マイナスの1億800万ってなってますけど、多分、7ページの収支不足額のところも、プラスの表記があって、損失額の1億800万ということではないかと思うんですが、いかがでしょうか。
- 事務局 7ページと10ページの比較についてです。こちらについては、7ページは176百万円ということでちょっと表記が統一されていません。申し訳ございません。あくまでその不足額が、176百万円ということですので、そのようにちょっとご理解いただければというふうに思います。
- 委 員 マイナスがいらないということでおろしいですよね。
- 事務局 支出からは、収入を引いた額という形の表記になっております。ご指摘の通りです。10ページのマイナスが不要ということです。
- 会 長 10ページの資本的収支の不足額のところで、決算額、括弧Bがマイナスが付いてますけど、これがいらないということか。
- 事務局 具体的に言いますと、マイナス46、それからその下の方のマイナス108、そのマイナスが、不要という形になります。誤りですので、訂正をさせてください。その下の差（B-A）がマイナス62ですが、これも62の前のマイナスも削除をお願いします。加えて、右下の青で囲まれている部分についても、資本的収支、一つ目のポツの108百万円なんんですけど、こここの部分もマイナスを消していただいて8のあとに、百を入れてください。その後ろ、62百万円の前のマイナスの削除をお願いします。
- 委 員 上の収益的収支の中の純損失とかではなくて、純利益としてわざわざマイナス表示されてるので、統一されたほうがよろしいかと思います。
- 事務局 来年度は、訂正修正して、見やすい資料に修正します。

(3) 経営分析について

秋葉管理係長説明

・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会資料P11～14を説明
(質疑応答・意見と回答)
質疑なし

(4) 令和3年度の主な事業の概要について

高瀬課長補佐兼工務係長説明

・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会資料P15～18を説明
(質疑応答・意見と回答)

■委 員 16ページの城山のとこですけど、城山の石垣のところ、昔からありますけど、これを取り壊して、ステンレスのタンクに変えるということだが、この工事をやっている間に城山から配水している家庭に対する給水はどのようにするのか。

□事務局 城山配水池の既存の施設を一度解体しないと、ステンレス配水池を設置できませんので、貯水量は減ってはしまうんですが、仮設で一番下側の公園あたりの用地を使い、減圧弁という装置をつけて、水圧を調整し、今の石積みの配水池の機能を一度停止し、その後に解体撤去した後に、ステンレスのタンクを設置するという計画であります。

■委 員 新見地区の家庭は少し水圧が落ちるということですか。

□事務局 基本的には減圧弁というものは、調整がきますので、できるだけ既存の水圧を保持できますように調整を十分行って、少し水量が減るというところがちょっと気がかりにであるんですが、水圧が低下した、使いにくいということがないように配慮したいと思います。

■委 員 これによって、市民の方から、水が出ないという苦情は来ないだろうということですよね。

□事務局 そうですね。全くというのはないかもしれません。そこで調整しながら、やって行きたいと思います。

■委 員 それともう一つ、17ページの、馬塚浄水場ですけど、前の時の時にも聞きましたが、すぐ裏に高梁川が流れていますよね。近年、水がよく出て、川岸いっぱいまで水が来ることがあるのですが、水がもし超えて、受電制御盤設備や、沈殿槽、ろ過池というところに、川の水が入ってくるというようなことは、もう対策済みですよね。

□事務局 前回のこの審議会でも、こういったお話をいただいたいというのは前任者の方から引き継ぎをいただいております。先ほど説明した委託関係の、上水道事業の整備計画の中に盛り込んでいくうかなどいうふうに考えております。今の計画、これは計画だけの話があって、100年とか200年、千年を見越した雨量っていうのは、なかなか私の方も大丈夫だ

とは言いにくいんですが、ハザードマップを参考にしまして、今の現状では、浄水場は浸からないというのを知っているんですが、浄水場のところにフェンスがありまして、それを擁壁に見直すのがいいんじゃないかなと思っております。この2番目の計画につきまして、古い施設の更新事業の順番も兼ねて、計画の中に入りますので、その中に盛り込んでいって、新たな詳細設計はまた別工程になると思うんですが、いずれにしても、積み上げで6億3,000万ほどかけた施設でありますので、それがまだ水に浸かって故障してしまうことになってもいけないので、今計画を直して、次に実現できるような計画を進めていきたいというふうに思っております。

■委 員 唐松のところみたいになると、大変なので、水位が何メーターぐらいを見込んでるかというのを明確に言ったほうがいいと思う。越水して堤防より3メーターまで上がってきても浸水はありませんとか、そういうのが明確になった方が安心できると思う。ハザードマップで大丈夫である、何メーターまで予想するかというのを広報誌とかそういうので、打ち出した方がいいと思います。せっかく良いものを作っているのだから。

(5) 国等への要望活動について

(6) 新見市水道事業経営戦略の策定について

秋葉管理係長説明

・令和3年度第1回新見市水道事業運営審議会資料P19～23を説明

〈質疑応答・意見と回答〉

質疑なし

(7) その他

□事務局 最初の料金改定について何かご意見、ご質問等があれば、ありますか。

■委 員 先程説明のあった当初の料金改定の時期をもう一度お願いします。

□事務局 審議会で答申ををいたいたのが令和4年度ですが、令和4年4月分から簡易水道料金と上水道料金の体系を統一する、令和6年度4月分から、各々10.8%上げるという答申をいたいたと思います。本市の中で、庁内で検討しまして、その通りすべきだということで、令和元年の12月定例市議会の方へ条例を提出いたしまして議会の承認を受けました。ですが、令和2年からのコロナの関係で、かなり経済が疲弊している、市民の方々への負担増が計り知れないものになる恐れもあるということで、まずは、今低迷している経済が上向き傾向に向かうま

で、料金の引き上げは延期しようと判断いたしました。今のところ、ちょっとわからないんですけども、最低でも1年は上げるべきではないということで、早くても、令和5年の4月の引き上げを、延ばすということに今現在、そういう方向で調整をしております。ただ、1度上水道の方については条例等、議会の議決をいただいておりますので、今度は逆にそれを、1年延ばすという条例をまた認めてもらわないと、それについてはできませんので、そういうことで今現在調整をしているということで、確定ではございません。下水道につきましても、令和4年度に20%値上げという答申をいただきましたが、これにつきましては答申をいただいた時にコロナの影響を考えて慎重にということだったんで、それも水道と同様に、早くても令和5年4月というふうに考えております。

- 会長　ただいま延長というふうな状況でございますが、これについてはよろしいでしょうか。これ用意しておりました議題につきましては終わらせていただきます。ちょっと延長しましたけれど、慎重審議をいただきまして、ありがとうございました。

4. その他

〈質疑応答・意見と回答〉

・アドバイザーから一言

公認会計士の明定でございます。議題の中で経営戦略の策定についてというのがございましたのでその点について補足ということで、お話をさせていただきます。こちらについては、国からの要請ということで、各市区町村において、ご対応されているところでございます。こちらについては、一旦作りつくりなさいと、そして毎年進捗状況を確認しなさい、計画と実績を比較して、進捗状況を確認して、それを國の方から、モニタリングをしていきなさい、3年とか5年とかいう間の一定の期間ですね、見直しも行なっていきなさいというような話になっております。要は一旦作ってそれで終わりというわけではなくて、毎年毎年、内容を確認して、適宜見直しをしていきなさいという話になっております。こちらについては、本日のこの審議会の中でも、計画としてインパクトというようなお話もあったかと思いますので、そのあたりですね、今後、経営戦略のモニタリングというような役割も審議会の中でも、そういう部分だなと思いますので、その辺りも含めましてですね、今後もよりよい審議会で検証をやっていただければなというふうに考えておりまして、私からは以上とさしていただきます。

- ・今後の予定：次回は令和4年度に今年度と同様の時期に開催予定。

5. 閉会

立花副会長

今日は慎重審議ありがとうございました。深く検討できたと思います。次年度に向けて、市の方に要望もできておりますし、このメンバーで、新メンバーも加わりましたが、長い間、わかってる私達がさらに検討し、勉強していきたいと思います。本日はお疲れ様でした。